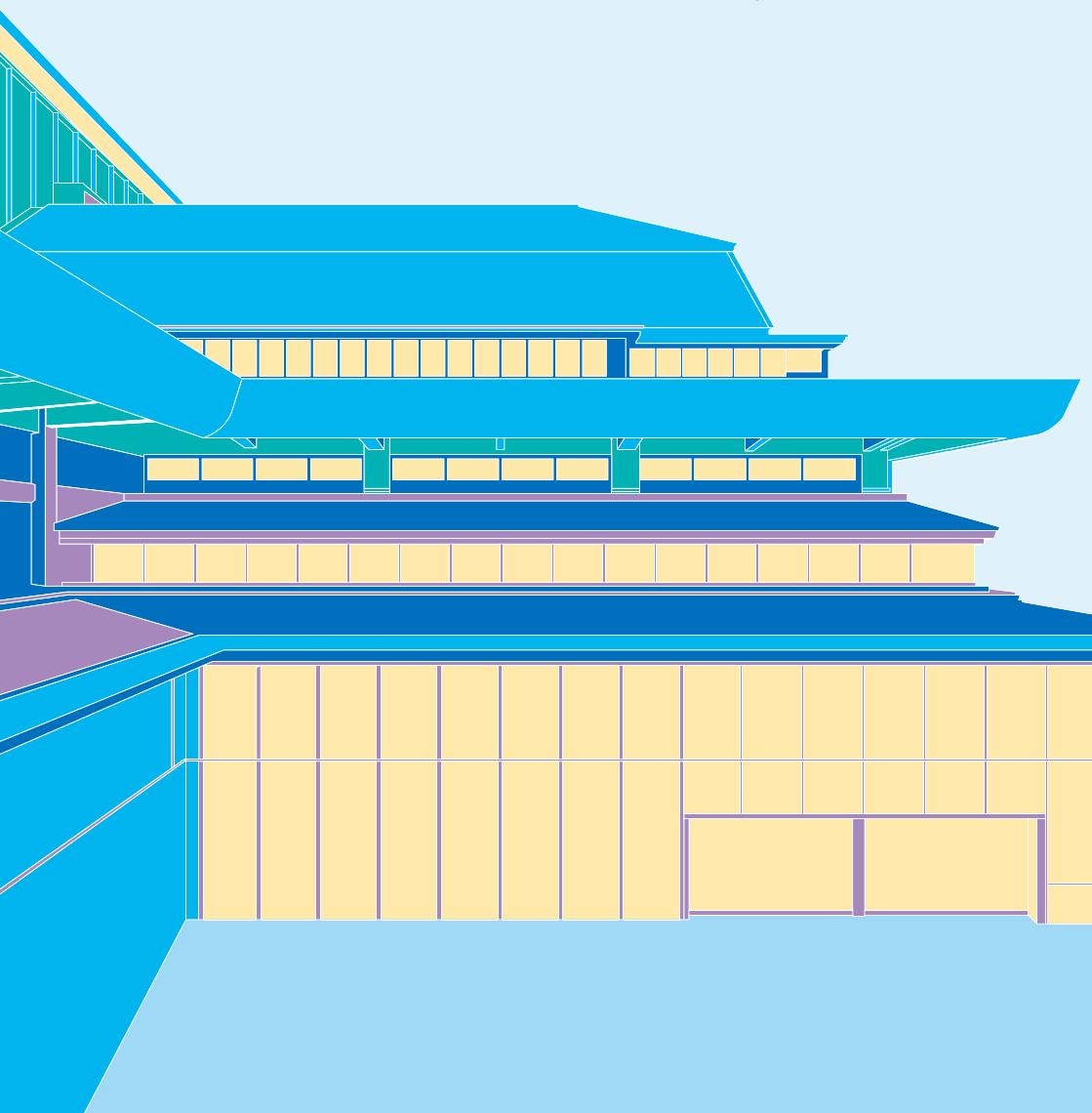


ロームシアター京都  
ROHM Theatre Kyoto

自主事業ラインアップ

APR2023-MAR2024

出  
会  
い  
へ  
の  
旅  
路  
、  
そ  
の  
交  
点



# 2023年度自主事業の企画にあたって

## 2023年度自主事業ラインアップテーマ 出会いの旅路、その交点

「劇場文化をつくる」をミッションに掲げ、ロームシアター京都がリニューアルオープンして、7年が過ぎました。自らが掲げた「劇場文化をつくる」とは、具体的に何を指すのか、「劇場文化」という言葉の定義は何なのか。多様な事業と劇場運営を通して、これらの問いを、アーティストや観客など、関わる人々と議論し試行錯誤しているのではないかと考えています。輪郭やイメージはありつつも、はっきりとした定義が難しいということが、このミッションの重要さ、大きさを物語っているのかもしれません。また、「つくる」という部分にも注目してみると、「劇場文化」はすでに確立したもの、存在するものを維持するのではなく、これからつくっていくものだと再認識できます。それぞれが考え、更新される目標に向けて、新たな劇場を核としたコミュニティを模索し、劇場の役割を拡張し続けること。私たちは、常にこの旅の途上にあり、その道のりでの出会いや交わりの空間 / 時間をみなさんと共にしていきます。

2023年度の自主事業ラインアップテーマは、「出会いの旅路、その交点」としています。プログラムには、「さまざまな時代 / 地域 / ジャンル」で紡がれてきた文化や先人の表現を踏まえた歴史性に根差した視点と、そこから飛躍した現代的な視点が交わり、同居するプログラムが揃いました。

劇場の財産となる作品をプロデュースするシリーズ「レパトリーの創造」では、第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展でも話題を呼んだダムタイプのコアメンバー、高谷史郎による新作を発表します。移ろいゆく自然現象にアプローチし、相反するものが共存する日常の中の非日常を描き出します。2021年の中止を経てついに実現するのが、太陽劇団22年ぶり

の来日公演です。日本の伝統芸能をリサーチし参照すると同時に、夢の中の日本にある架空の島「金夢島（かねむじま）」を舞台に、現代の諸問題を浮き彫りにします。川口隆夫らによる『バラ色ダンス 純粋性愛批判』では、舞踏におけるエポックメイキングな作品を再解釈し、クリティカルな検証を仕掛けます。そのほか、古今東西の文化からインスパイアを得ながら、それぞれ独自の考えや技術の編み直しを試みる作品たちが登場します。また、ロームシアター京都のプロデュース作品が各地の劇場へ飛び立つ機会や、他分野との協働が増えています。各所で生まれるこれらのネットワークをコミュニティへと発展させるべく、より密接な関係を築いていくことを目指します。

また作品が創作される背景やプロセス（＝旅路）を、上演に加えて、展示やトーク、上映会を実施することで観客と共有します。劇場というプラットフォームに「さまざまな時代 / 地域 / ジャンル」で育まれた知恵や技術を放り込むことで、多くの交点、舞台芸術との刺激的で豊かな出会いを生み出します。特にラーニング、コミュニティといった育成や普及を目的とした事業においては、その学びや体験そのものがそれぞれの人生と交差する場となりえます。ゴールを目指して一直線に進むだけではない、寄り道や遠回りをするなかで遭遇する出来事や人との交点から、複雑化する世界、そして、この困難な時代を生き抜く術が見つかるかもしれません。

現在でも、新型コロナウイルス感染症流行の影響が長く続いていますが、観客との関係をあきらめないアーティストたちとの協働によって、プログラムを展開してまいります。2022年度のラインアップテーマ「旅」に続く、2023年度もぜひロームシアター京都の活動にご注目いただけたら幸いです。

2023年3月  
プログラムディレクター 小倉由佳子

## 2023年度ラインアップ 6つの事業カテゴリー

- ① 作品創造

劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開します。
- ② 京響プログラム

ロームシアター京都は京都市交響楽団の第2のフランチャイズホールです。音楽のみならず他ジャンルとのコラボレーションなどで京響の新たな魅力を広げます。
- ③ 伝統芸能の継承

日本舞踊、能楽、文楽、雅楽といった古典芸能に加え、地域ごと継がれてきた民俗（郷土）芸能を独自の切り口で紹介し、伝統芸能の面白さを伝えます。
- ④ ロームシアター京都セレクション

国内外からの選りすぐりの舞台芸術作品をご紹介します。次代を担う若手アーティストの創造支援や KYOTO EXPERIMENT など京都のさまざまな施設や団体と連携して行うプログラムもあります。
- ⑤ ラーニング

小中高生、それぞれの年代に応じた育成事業を展開するほか、舞台芸術に関わるレクチャーやリサーチを創作・実践の場と連動して行います。
- ⑥ コミュニティ

多様なライフスタイルと密着したプログラムや、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に繋がります。

## 事業スケジュール

| 日程 | 事業名                                                                                 | 会場                                                                                                   | ページ                  |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 5  | 20 <sup>土</sup> －21 <sup>日</sup>                                                    | 劇艶おとな団プロデュース<br>『9人の迷える沖縄人～after'72～』                                                                | ノースホール 02            |
|    | 5.23 <sup>火</sup> ほか                                                                | 市民寄席 第365回～第369回                                                                                     | サウスホール 03            |
|    | 29 <sup>日</sup> －6.4 <sup>日</sup>                                                   | ホリデー・パフォーマンス Vol.12 西條茜                                                                              | プロムナード               |
| 6  | 1 <sup>金</sup> －2 <sup>金</sup>                                                      | 第72回京都新能 ー安寧を願い巡る京都の九寺社ー                                                                             | 平安神宮特設能舞台 04         |
|    | 1 <sup>金</sup> －2 <sup>金</sup>                                                      | 能の世界へおこしやす ー京都新能鑑賞のための公開講座ー                                                                          | メインホール               |
|    | 24 <sup>土</sup> －25 <sup>日</sup>                                                    | Sound Around 003                                                                                     | ノースホール 05            |
| 7  | 29 <sup>火</sup> －30 <sup>水</sup>                                                    | シス・カンパニー公演「帰ってきたマイ・ブラザー」                                                                             | メインホール 06            |
|    | 中旬                                                                                  | ブレイ!シアター in Summer 2023 ステージプログラム<br>アンディ・マンリー 新作公演「ベック」                                             | ノースホール 07            |
|    | 7月－8月                                                                               | 劇場の学校                                                                                                | 16                   |
| 8  | 11 <sup>金</sup> <sup>祝</sup> －13 <sup>日</sup> 、<br>16 <sup>火</sup> 、17 <sup>水</sup> | ブレイ!シアター in Summer 2023<br>オープンディ                                                                    | 全館 08                |
|    | 11 <sup>金</sup> <sup>祝</sup>                                                        | ブレイ!シアター in Summer 2023 オープンディ<br>京都市交響楽団0歳からの夏休みコンサート                                               | メインホール               |
|    | 24 <sup>火</sup>                                                                     | 能楽チャリティ公演 ～祈りよとどけ、京都より～                                                                              | サウスホール 07            |
|    | 26 <sup>土</sup> －27 <sup>日</sup>                                                    | バラ色ダンス 純粋性愛批判                                                                                        | ノースホール 06            |
|    | 31 <sup>火</sup> －9.1 <sup>金</sup>                                                   | goat 10 years anniversary スペシャルライブ                                                                   | サウスホール 09            |
|    | 8月－9月                                                                               | ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業<br>「シアターデビュー!」促進プログラム                                                        | 京都市文化会館5館 07         |
| 9  | 30 <sup>土</sup> －10.22 <sup>日</sup>                                                 | KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2023                                                                      | ロームシアター京都ほか 09       |
|    | 30 <sup>土</sup> －10.22 <sup>日</sup> （予定）                                            | OKAZAKI PARK STAGE 2023                                                                              | ローム・スクエア 10          |
| 10 | 26 <sup>火</sup> －27 <sup>水</sup>                                                    | 新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室『魔笛』                                                                              | メインホール               |
| 11 | 4 <sup>土</sup> －5 <sup>日</sup>                                                      | 太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ)<br>「金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima」                                                   | メインホール 12            |
|    | 16 <sup>火</sup> 、17 <sup>水</sup> 、12.27 <sup>火</sup>                                | 芸能の在る処～伝統芸能入門講座～                                                                                     | 18                   |
|    | 23 <sup>火</sup> <sup>祝</sup>                                                        | 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT プロデュース公演<br>「たわごと（仮題）」                                                              | サウスホール 11            |
| 12 | 未定                                                                                  | ホリデー・パフォーマンス Vol.13                                                                                  | パークプラザ3階共通ロビー（予定） 02 |
|    | 14 <sup>火</sup> －17 <sup>日</sup>                                                    | ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム<br>“KIPPU” 2023年度参加アーティスト<br>劇団不労社「MUMBLE ーモグモグ・モゴモゴー」               | ノースホール 14            |
| 1  | 中旬                                                                                  | ディミトリス・ババイオアヌー「INK」                                                                                  | サウスホール               |
| 2  | 1 <sup>金</sup> －4 <sup>日</sup>                                                      | ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム<br>“KIPPU” 2023年度参加アーティスト<br>PANCETTA「PANCETTA LAB 2024 IN KYOTO」(仮) | ノースホール 15            |
|    | 9 <sup>金</sup> －12 <sup>日</sup> <sup>祝</sup>                                        | レパトリーの創造<br>高谷史郎(ダムタイプ) 新作パフォーマンス公演                                                                  | サウスホール               |
|    | 23 <sup>金</sup> <sup>祝</sup>                                                        | 《継承と創造》金剛流能「石橋 和合連獅子」                                                                                | サウスホール 16            |
| 3  | 未定                                                                                  | ホリデー・パフォーマンス Vol.14 高橋耕平                                                                             | パークプラザ3階共通ロビー（予定） 02 |
|    | 15 <sup>金</sup> 、17 <sup>日</sup>                                                    | 小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XX<br>モーツァルト 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」<br>ROHM CLASSIC SPECIAL                               | メインホール 17            |

げきしよく  
劇艶おとな団プロデュース  
『9人の迷える沖縄人～after'72～』  
うちなーんちゅ

5.20<sup>土</sup> 14:00／19:00開演 21<sup>日</sup> 14:00開演 会場|ノースホール

全席自由 一般前売|3,500円、25歳以下|2,000円、18歳以下|1,000円、当日一般のみ|+500円  
[3月20日<sup>日</sup>一般発売開始]



撮影:久高友昭

1972年の沖縄本土復帰に向き合う劇団の姿を通じ、  
意見の異なる者たちの「対話」の重要性を描き高く評価された作品

2022年に沖縄は本土復帰50年の節目を迎えました。このたび、沖縄を拠点に活動する劇作家、演出、出演者により上演を重ね、昨年度の「CoRich 舞台芸術まつり! 2022春」のグランプリを受賞した作品の初の京都公演が、ロームシアター京都で実現します。

1972年の沖縄本土復帰を題材にした作品と向き合う現代の劇団の稽古風景を舞台に描かれる本作(2015年初演)は、復帰当時と現在を行き来する二重構造の物語を通し、過去と現在の沖縄に暮らす人々の多様で複雑な立場や心情を浮き彫りにしていきます。

それぞれの立場から、沖縄に対する想い、日本への想い、そして戦争、恒久平和への想い、いろいろな想いが交差する…。1972年、沖縄人は何を想い、何を願ったのか。現実社会では対話が困難な人々や意見を一つの舞台に乗せることにより、異なる意見の他者を理解し、「対立」でなく「対話」することの重要性を示す作品です。

作|安和学治、国吉誠一郎 演出|当山彰一 出演|仲嶺雄作、國仲正也(鳩ス)、犬養憲子(芝居屋いぬかい)、島袋寛之(Team SPOT JUMBLE)、当山彰一(劇艶おとな団)、宇座仁一(宮城元流能史之会)、上門みき、伊禮門綾(劇団綾船)、与那嶺圭一(Team SPOT JUMBLE)

げきしよく  
劇艶おとな団 Gekishokuotonadan

2011年、大人バンド結成ブームに刺激された演奏ができない大人達が集まり、ならば体と声を使って自分を表現しよう!と結成。主宰の当山彰一、安和朝彦、安和学治の3名で団員を集め「劇艶おとな団」を立ち上げ、同年6月にオリジナル脚本によるうちなー現代演劇「うちかび」を上演。カフェオーナー、不動産社長、カメラマン、県庁職員、会社員、郵便局員、俳優と、いろんな職種のメンバーから成る。「大人が夢を見、実現できなくちゃ、子どもと夢を語れない」と大人が本気になるとこんなに素敵な事が出来る。2015年には制作会社として「一般社団法人おきなわ芸術文化の箱」を設立。2017年那覇市銘苅に小劇場スペース「銘苅ベース」を開設し、演劇を通したさまざまな活動を県内各地で行っている。沖縄を舞台にした全作品オリジナル脚本で、随所にうちなーぐちを取り入れた、うちなー現代芝居。子どもからお年寄りまで親子三代で観て楽しめる作品が特徴。「9人の迷える沖縄人」は同劇団の代表作。今回は、他劇団や伝統芸能、沖縄芝居で活躍する役者を客演に迎え、沖縄の芸術文化の多様性も発信する。

主催|(一社)おきなわ芸術文化の箱 共催|ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)  
協力|(一社)全国小劇場ネットワーク、那覇文化芸術劇場なはーと

ホリデー・パフォーマンス

年3回開催

会場|パークプラザ3階共通ロビー ほか

無料・申込不要

音楽をはじめ、美術や演劇など多様なジャンルのパフォーマンスを無料でお楽しみいただけるシリーズです。ジャンルにとられない多様なパフォーマンスを紹介し、日常で気軽にアートに触れる機会を創出します。

Vol.12は、伝統的な陶芸の手法や構造を独自に再解釈しながら、狭義の陶芸の枠組みを越え「身体性」をテーマに制作するアーティスト・西條茜の陶彫作品を1週間展示します。最終日には3人のパフォーマーが作品を巡り、声や息を使って、新たな形のコミュニケーションを実践するサウンドパフォーマンスを行います。



西條茜 湿地 wetland 2022 Photo: Takeru Koroda

Vol.12 西條茜 展示:5.29<sup>日</sup>ー6.4<sup>日</sup> パフォーマンス:6.4<sup>日</sup> 14:00開演

2014年京都市立芸術大学大学院 美術研究科修士課程 工芸専攻陶磁器分野 修了。2013年ロンドン ロイヤルカレッジオブアートへ交換留学。2020年度京都市芸術文化特別奨励者認定者。2022年度京都市芸術新人賞受賞者。陶磁器素材の特徴ともいえる内部の空洞と表面の艶やかな質感から「身体性」をキーワードに、陶彫作品及びそれに息や声を吹き込むサウンドパフォーマンスを発表している。また一方で世界各地にある窯元などに滞在し、地元の伝説や史実に基づいた作品も制作している。2021年よりアートユニットTÔBOEとしても活動。



Vol.13 未定 2023.11 (予定)

Vol.14 高橋耕平 2024.2

アーティスト。ドキュメンタリー映像、行為の記録、アーカイブ資料に自らの声や身体を介入させ、他者や史実との対話を巡る作品を制作する。主な展覧会に「コレクションとの対話:6つの部屋」(京都市京セラ美術館、京都、2021)、「切断してみる。ー二人の耕平」(豊田市美術館、愛知、2017)、個展「高橋耕平ー街の仮縫い、個と歩み」(兵庫県立美術館、2016)などがある。京都市を拠点に活動。



撮影:堀井ヒロツグ

主催|ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

市民寄席

第365回 5.23<sup>火</sup> 19:00開演 第366回 7.25<sup>火</sup> 19:00開演  
第367回 9.24<sup>日</sup> 13:30開演 第368回 11.14<sup>火</sup> 19:00開演  
第369回 2024.1.14<sup>日</sup> 13:30開演

会場|サウスホール

全席指定 第365回、第366回、第368回 前売|1,800円、当日|2,000円、ユース(25歳以下)|1,500円  
第367回、第369回 前売|2,300円、当日|2,500円、ユース(25歳以下)|1,500円  
年間席札 8,000円、ユース(25歳以下)|6,000円 [第365回:3月18日<sup>土</sup>一般発売開始]

1957年にスタートし、京都では恒例の落語会として長く親しまれてきた「市民寄席」。幅広い世代に笑いを届ける上方落語の生の迫力と寄席の雰囲気をご体験ください。

第365回 2023年5月23日<sup>火</sup>19:00 開演

【番組】「御公家女房」桂 九ノ一、「過去のないワイン」桂 三四郎、「お見立て」笑福亭 円笑、「ねずみ穴」桂 福団治



口上 撮影:佐々木卓男

主催|京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)





## Sound Around 003

6.24<sup>土</sup> 19:00 25<sup>日</sup> 14:00

会場 | ノースホール

全席自由(予定) 一般 | 2,500円、ユース(25歳以下) | 1,500円、18歳以下 | 1,000円  
[4月15日(土)一般発売開始]

シリーズ第3弾は「作曲」をテーマに、  
関西の音楽シーンの注目株が登場！

ジャンルや固定観念にとらわれない「音楽」を軸とした表現活動を行うアーティストによるパフォーマンスシリーズの第3弾。今回は演奏家・作曲家として活躍目覚ましい日野浩志郎をホストに迎え、「作曲」という行為そして形式に着目し、マリンバやヴィブラフォンなどの打楽器とエレクトロニクスで構成した新曲を作曲・発表します。

コラボレーションアーティストにはダムタイプや坂本龍一などのプロジェクトにも参加している古舘健、ヴィブラフォン・マリンバ奏者、作曲家として国内外で活躍する藤田正嘉らが参加。それぞれの興味関心を交錯させ、かつ既知の作曲手法や技術も参照・引用しながら、スコアと演奏者の関係性の問い直しなど、作曲における新たなアプローチを模索します。ロームシアター京都で初めて本格的に取り組む「作曲」というテーマについて、アーティストと劇場、そして観客がともに考えるプロジェクトです。

メインアーティスト・構成・出演 | 日野浩志郎

コラボレーションアーティスト・出演 | 古舘健、藤田正嘉、谷口かな、前田剛史 音響 | 西川文章

## 日野浩志郎 Koshiro Hino

音楽家、作曲家。1985年生まれ、島根県出身。現在は大阪を拠点に活動。実験的なリズムのアプローチを試みるグループ「goat」や「bonanzas」での活動の他、電子音楽を使ったソロプロジェクト「YPY」等、そのアウトプットの方向性はダンスミュージックや前衛的コラージュ / ノイズと多岐に渡る。主な作曲作品は、電子音とクラシカル楽器を融合させたハイブリッドオーケストラ「Virginal Variations」、その発展として多数の音空間を混在させた全身聴取ライブ「GEIST」の他、サウンドアーティスト FUJII |||||||TA と共に作曲・演奏した作品「INTERDIFFUSION」等。2021年には佐渡島での滞在制作で書き下ろした楽曲群を芸能太鼓集団「鼓童」が演奏した音楽映画「戦慄せしめよ / Shiver」が公開された。



photo by Dai Fujimura

## 古舘健 Ken Furudate

1981年生まれ。京都在住。アーティスト／エンジニア／ミュージシャン。サインウェーブ、パルス、ドット、直線などプリミティブな素材の特性を重ね合わせることで、複雑な現象を導き出すようなAVパフォーマンス、インスタレーションなどを制作。2002年より観客参加型のサウンド・アート・プロジェクト「The SINE WAVE ORCHESTRA」を他3人のメンバーと主催。2014年よりアーティストコレクティブ「Dumb Type」に参加、59回ベニスビエンナーレ、日本館にて作品「2022」を発表(2022)。西陣織の織元・細尾とのプロジェクト「Quasicrystal」では、ジェネラティブアートの手法を用いた新しい西陣織を制作。他、エンジニアとして様々な作家の制作に参加している。2021年よりDJとしても活動。



撮影：桜木美幸

## 藤田正嘉 Masayoshi Fujita

ヴィブラフォン・マリンバ奏者・作曲家。ドラムからヴィブラフォンへ転向後、伝統的な演奏スタイルやテクニック、作曲法にとらわれない唯一無二の音とヴィブラフォンの新たな可能性を追求する。2006年よりベルリンにて作曲・演奏活動を開始。ヨーロッパをはじめ各国のイベントに出演。別名義「el fog」での活動や、Jan Jelinekと継続的なコラボレーションを行う等、幅広い活動で評価を受ける。現在は兵庫県を拠点に活動。三上雅彦とのコラボレーションアルバム『Conjecture』(2016)、映画やブランドなどへの音楽提供も行う。2021年には集大成でもあり新境地ともいえるソロアルバム『Bird Ambience』を発表。Korogi社エンドースメントアーティスト。



Photo by Özge Cöne

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

## 第72回京都薪能 - 安寧を願い巡る京都の九寺社 -

6.1<sup>木</sup>-2<sup>金</sup> 両日18:00開演 会場 | 平安神宮特設能舞台 ※雨天の場合はメインホール

指定席・自由席 前売指定席 | 7,000円(席数限定)、前売自由席 | 4,000円、学生前売自由席 | 3,000円  
前売自由席団体割引 | 3,600円(15名以上)、当日自由席 | 5,000円(一般・学生共通) ※未就学児入場不可  
[4月15日(土)一般発売開始] ※自由席は日にち指定制(両日共通券ではありません)



能の普及と発展をめざして毎年開催され、今や京都の初夏の風物詩となっている京都薪能。

## 6月1日(木)

観世流能 「賀茂」(シテ) 深野貴彦  
金剛流能 「熊野」(シテ) 金剛永謹  
大蔵流狂言「鬼瓦」(シテ) 茂山七五三  
観世流能 「舍利」(前シテ) 河村浩太郎  
(後シテ) 大江広祐

## 6月2日(金)

金剛流能 「経正」(シテ) 廣田幸稔  
観世流能 「百万」(シテ) 味方玄  
大蔵流狂言「石神」(シテ) 茂山千五郎  
観世流能 「鉄輪」(前シテ) 分林道治  
(後シテ) 林宗一郎

主催 | 京都市、一般社団法人京都能楽会  
共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

## 能の世界へおこしやす - 京都薪能鑑賞のための公開講座 -

6.1<sup>木</sup>-2<sup>金</sup> 両日14:00開演

会場 | メインホール

全席自由 無料、申込不要 お問合せは京都いつでもコール(075-661-3755)、ロームシアター京都(075-771-6051)  
※未就学児入場不可

京都薪能を通じて能と狂言の世界をお楽しみいただくために、出演者による公開レクチャーを今年も実施いたします。能の謡や囃子、狂言の体験を交えた解説の後に、ダイジェスト版の能も鑑賞していただけます。午後6時から開催される“京都薪能”をご覧になる前に、午後2時からの無料レクチャー「能の世界へおこしやす」にどうぞお越しください。

出演 | 京都薪能出演能楽師

主催 | 京都市、一般社団法人京都能楽会  
共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



## シス・カンパニー公演 「帰ってきたマイ・ブラザー」

6.29<sup>土</sup> 13:00 / 18:00開演 30<sup>金</sup> 13:00開演 会場 | メインホール

全席指定 S席 | 11,000円、A席 | 8,000円、B席 | 5,000円 [3月26日<sup>日</sup>一般発売開始]

### 水谷豊×段田安則×高橋克実×堤真一、 夢のヴォーカル・グループを結成!?

作：マギー、演出：小林顕作が仕掛けるのは、かつて大ヒット曲を放ちながら、あっという間に表舞台から姿を消した兄弟グループ“ブラザー4（フォー）”の物語。約20年ぶりの舞台出演が実現する水谷豊を筆頭に、心が躍る興奮の顔ぶれが勢揃い。目が離せないステージにご期待ください。



作 | マギー 演出 | 小林顕作  
出演 | 水谷豊、段田安則、高橋克実、堤真一、池谷のぶえ、峯村リエ、寺脇康文

企画・製作 | シス・カンパニー 主催 | サンライズプロモーション東京 共催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団） 運営協力 | サンライズプロモーション大阪

## プレイ!シアター in Summer 2023 ステージプログラム アンディ・マンリー 新作公演「ペック」

7月中旬 会場 | ノースホール

全席自由 おとな | 1,800円、こども(0-18歳) | 500円、  
こども+おとなペア | 2,000円(枚数限定) [5月13日<sup>土</sup>一般発売開始]

若い観客のためのパフォーマンスを専門とし、世界中で高い評価を受けるアーティストのアンディ・マンリーによるこども(対象年齢3〜6歳)向けの新作公演。プレイ!シアター in Summer 2019 ステージプログラム「スティック・バイ・ミー〜ぼくのたいせつでヘンテコなもたち〜」に続き、今年は鳥のさえずりや歌をモチーフに創作した、おとなとこどもで楽しめるノンバーバル作品を上演します。



photo:Mihaela Bodlovic

企画制作・共同製作 | ロームシアター京都、一般社団法人エーシーオー沖縄  
主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市 特別協賛 | ローム株式会社

## 能楽チャリティ公演 ～祈りよとどけ、京都より～



8.24<sup>土</sup> 第1部10:30開演 / 第2部18:30開演 会場 | サウスホール

全席自由 1,500円 [6月1日<sup>土</sup>一般発売開始]

京都在籍の能楽師有志による能楽チャリティ公演を開催します。

【第一部】 半能「敦盛」(シテ)河村和貴  
狂言「蟹山伏」(シテ)茂山忠三郎  
能「雷電」(シテ)橋本光史

【第二部】 半能「胡蝶」(シテ)田茂井廣道  
狂言「延命袋」(シテ)茂山茂  
能「葵上 梓之出」(シテ)片山九郎右衛門



雷電



葵上

主催 | 京都在籍能楽師有志 共催 | 京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、国際交流基金京都支部

## ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業 「シアターデビュー!」促進プログラム

8-9月 会場 | 京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館

席種・料金・発売日未定

ロームシアター京都と京都市内の文化会館5館が協働し、未就学児向けの作品上演を行います。地域子どもたちが初めて劇場に足を運ぶ＝“シアターデビュー!”の機会と、おとなとこどもが一緒に楽しめる場をつくることで、地域コミュニティと劇場の結びつきを深めます。

主催 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団（ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館）、京都市

## バラ色ダンス 純粋性愛批判



8.26<sup>土</sup>-27<sup>日</sup> 全2回公演 会場 | ノースホール

全席自由 一般 | 3,500円、ユース(25歳以下) | 2,000円、18歳以下 | 1,000円 [6月17日<sup>土</sup>一般発売開始]

### 60年代暗黒舞踏の初期代表作とクィアな美意識を足がかりに、 明日の舞踏(ダンス)を妄想する

パフォーマンスの幅広い可能性を追求し、国内外で高い評価を得る川口隆夫。これまで活動の核に据えてきたアイデンティティやジェンダーに関わる問題意識と、近年集中的にリサーチに取り組んでいる「舞踏」の二つを軸に新作に挑みます。暗黒舞踏の創始者のひとり・土方巽の60年代の代表作「バラ色ダンス」を出発に、60〜70年代に欧米のゲイカルチャーを中心に隆盛を極めた〈Camp〉の感性を引きながら、歴史をノスタルジックに回顧するのでも神格化するのでもなく、現代の視点からクリティカルに検証し、21世紀のダンスに新たな可能性を切り拓きます。



『バラ色ダンス 純粋性愛批判』序章(2022) © bozzo

構成・演出 | 川口隆夫 出演 | 川村美紀子、川口隆夫 ほか



© Hiroki Obara

### 川口隆夫 Takao Kawaguchi

1996年よりパフォーマンスグループ「ダムタイプ」に参加。2000年よりソロ活動を開始し、演劇・ダンス・映像・美術をまたいでパフォーマンスの幅広い可能性を追求する。08年より私的パフォーマンスシリーズ『a perfect life』を展開し、13年に第5回恵比寿映像祭に参加。近年は舞踏に関するパフォーマンス作品『ザ・シック・ダンサー』(田辺知美と共に、12年)、『大野一雄について』(13年)を発表。後者はニューヨーク・ベッシー賞にノミネートされ、18年にはバリー市立劇場でも上演された。

主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市



## プレイ!シアター in Summer 2023 オープンデー

8.11<sup>金祝</sup> - 13<sup>日</sup>、16<sup>水</sup> - 17<sup>木</sup>

会場 | 全館

無料・申込不要(予定)

### 今年も開催! 家族や友達と楽しめる、 ロームシアター京都の夏休み恒例イベント

“劇場で遊ぼう”を合言葉に、毎年たくさん子どもたちが集まる大好評企画「プレイ!シアター」。今年は、音楽・ダンス・落語などのパフォーマンスプログラムを楽しむ2日間(8/11、12)と、のんびりと劇場で1日を過ごすことのできる「Relaxing time and space」(8/13)、舞台のスタッフワークを体験できるワークショップ(8/16、17)を開催。恒例のワークショップや楽器体験も開催します。



WONDER WATER ©出口敏行



撮影:山地憲太

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 特別協賛 | ローム株式会社

## プレイ!シアター in Summer 2023 オープンデー 京都市交響楽団0歳からの夏休みコンサート

8.11<sup>金祝</sup> 11:00 / 14:00開演

会場 | メインホール

**全席指定** 小学生以上 | 800円、未就学児 | 無料[6月24日④一般発売開始]

毎年恒例となった、0歳から参加可能な、京都市交響楽団によるオーケストラコンサート。今年は、2020年にオンラインで上演した京都市交響楽団0歳からの夏休みコンサート「ステイキャッスルはもううんざり!」をもとに、今回新制作する演出でリアル開催します。



撮影:山地憲太

指揮 | 和田一樹 オーケストラ | 京都市交響楽団

脚本 | 松宇拓季、永野宗典、大歳倫弘(ヨーロッパ企画) 演出 | 大歳倫弘

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 特別協賛 | ローム株式会社

## goat 10 years anniversary スペシャルライブ

8.31<sup>木</sup> - 9.1<sup>金</sup> 全2回公演

会場 | サウスホール

席種・料金・発売日未定

電子音楽ソロプロジェクト「YPY」をはじめ、舞台作品「GEIST」や、太鼓芸能集団 鼓童とのコラボレーションなどで知られる音楽家・作曲家の日野浩志郎を中心に活動を行うバンド「goat」による、活動10周年を記念した2daysのスペシャルライブ。goatとgoat セレクションによる豪華アーティストが一夜限りの競演を行います。

goat はオリジナルメンバーの日野、田上敦巳、安藤暁彦に加え、MANISDRON、The Noup のドラマー岡田高史と、元鼓童の篠笛・パーカッション奏者である立石雷の5人編成。2023年の結成10周年に向け約8年ぶりとなる新作アルバムの制作も控えており、期待が高まるなかでの貴重なホール公演をお見逃しなく!



撮影:井上嘉和

主催 | 株式会社鳥友会 共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

## KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2023

9.30<sup>土</sup> - 10.22<sup>日</sup>

会場 | ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座、THEATRE E9 KYOTO ほか

席種・料金・発売日未定

### 京都発、実験的な舞台芸術を紹介するフェスティバル

KYOTO EXPERIMENT は、2010年より京都市内で開催している舞台芸術祭です。世界各地の「EXPERIMENT (エクスペリメント) = 実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指しています。演劇、ダンス、音楽、美術、デザイン、建築などジャンルを横断した実験的な表現が集まり、そこから生まれる創造、体験、思考を通じて、新たな可能性をひらいていきます。国内外の先鋭的なアーティストによる作品を上演する「Shows」、京都および関西地域をアーティストとともにリサーチし、未来の創作基盤につなげていく「Kansai Studies」、トークやワークショップなど鑑賞とは異なるフォーマットで、舞台芸術に限らず先端的な思考に触れる「Super Knowledge for the Future [SKF]」の3つのプログラムで展開します。



主催 | 京都国際舞台芸術祭実行委員会 [京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO (一般社団法人アーツシード京都)]



## OKAZAKI PARK STAGE 2023

9.30<sup>土</sup> - 10.22<sup>日</sup> (予定)

会場 | ローム・スクエア

無料、申込不要

ロームシアター京都の中庭「ローム・スクエア」を会場に今年も秋の賑わいを創出します。これまでにないデザインされた共有空間を舞台に、毎年おなじみの岡崎地域を中心とした市民ステージや、アーティスト小山田徹との焚き火等を開催します。



Photo by Toshiaki Nakatani



## 小山田 徹 Toru Koyamada

アーティスト。1961年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アーツスケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。日本洞窟学会会員。

企画製作 | ロームシアター京都 主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市協力 | 岡崎いきいき市民活動センター

## 新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室『魔笛』

10.26<sup>木</sup> - 27<sup>金</sup> 両日13:00開演

会場 | メインホール

全席指定 2,200円(高校生および引率者[学校団体]※申し込み受付中) [発売日未定]

※残席がある公演日に限り、高校生以下および一般への事前販売を行います(料金:高校生以下2,200円、一般4,400円)

「高校生のためのオペラ鑑賞教室」では、2016年のリニューアルオープン以降、「フィガロの結婚」「蝶々夫人」「ドン・パスクワレ」と上演を重ねてきました。2023年度の上演演目は、新国立劇場のレパートリー作品として人気の高い「魔笛」を再び上演。日本を代表する一流の歌手陣、京都市交響楽団の演奏でお贈りします。現代アートの巨匠・ウィリアム・ケントリッジが手掛ける人物の内面を鮮やかに描写する演出が、高校生の想像力を刺激し、オペラへの興味を喚起します。

演目 | モーツァルト『魔笛』(全2幕 ドイツ語上演/日本語字幕付)

指揮 | 園田隆一郎 演出 | ウィリアム・ケントリッジ 管弦楽 | 京都市交響楽団

主催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、新国立劇場  
助成 | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 協賛 | ローム株式会社



2018年公演より 撮影:寺司正彦

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT プロデュース公演

## 「たわごと(仮題)」

11.23<sup>木祝</sup> 14:00開演

会場 | サウスホール

全席指定 一般 | 4,000円、ユース(25歳以下) | 2,000円、18歳以下 | 1,000円  
[8月26日<sup>土</sup>一般発売開始]



穂の国とよはし芸術劇場 PLAT プロデュース「荒れ野」(作・演出:桑原裕子 2019年再演) 撮影:伊藤華織

愛知県豊橋市の穂の国とよはし芸術劇場 PLAT プロデュースによる新作オリジナル作品が、ロームシアター京都に初登場します。脚本と演出は、PLAT の芸術文化アドバイザー・劇団 KAKUTA 主宰で劇作家・演出家・俳優として幅広く活躍する桑原裕子。PLAT プロデュースで作・演出を務めた『荒れ野』(2017年初演/2019年再演)は、第5回ハヤカワ「悲劇喜劇賞」、第70回読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞するなど、高い評価を得ています。

桑原裕子が描くのは、決して都会ではない、どこかの土地の片隅でひっそりと生きている市井の人々の姿。ひとつの出来事をきっかけに、悲しみ、怒り、諦め、喜びといった感情が登場人物たちの内面で渦巻くなか、人と人の交差のなかで未来へ踏み出す一歩を見つけていくさまを立ち上げ、人生の「真実味とは」を問いかける。そのような心を揺さぶる物語です。

## 桑原裕子 Yuko Kuwabara

東京都出身。劇作家・演出家・俳優。KAKUTA 主宰。

18年とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化アドバイザー就任、ワークショップや「文化祭 ArtPlatter」「市民と創造する演劇」などを手がける。俳優業のほかに、テレビ、ラジオ、映画の脚本、舞台への作・演出など、多方面で活動。19年に劇団作品『ひとよ』が白石和彌監督で映画化。映像脚本に昭和歌謡ミュージカル「また逢う日まで」など。その他近年の主な舞台に『徒花に水やり』(出演)『シブヤデアイマSHOW』(出演)『ロビー・ヒーロー』(演出)『サンセットメン』(作演出)『閃光ばなし』(出演)など。09年 KAKUTA 『甘い丘』第64回文化庁芸術祭・芸術祭新人賞(脚本・演出)受賞。16年 KAKUTA 『痕跡』第18回鶴屋南北戯曲賞受賞。18年穂の国とよはし芸術劇場 PLAT プロデュース『荒れ野』第5回ハヤカワ「悲劇喜劇」賞受賞、読売文学賞戯曲シナリオ部門受賞。



撮影:相川博昭

作・演出 | 桑原裕子(穂の国とよはし芸術劇場芸術文化アドバイザー・KAKUTA)  
出演 | 渋川清彦、田中美里、谷 恭輔、松岡依都美、松金よね子、渡辺いっけい

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
企画制作 | 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT



太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ)

# 「金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima」



11.4土-5日 全2回公演

会場|メインホール

全席指定 S席|8,000円、A席|6,000円、ユース(25歳以下)|4,000円、18歳以下|無料  
[7月15日(土)一般発売開始]

京都賞受賞アーティスト、アリアヌ・ムヌーシュキン率いる  
伝説の劇団「太陽劇団」(フランス)

コロナ禍の延期を経て

22年ぶり2度目の来日にして初の関西公演が実現!

創設59年目を迎えるフランスの太陽劇団は、演劇の可能性を広げる挑戦的な舞台で国際的評価の高い傑作を生み出し続けている世界有数の伝説的劇団のひとつです。ヒエラルキーを排した独特の劇団組織と方法論としての集団創作によって舞台芸術の創造を原理から捉え直し、古今東西の伝統芸能を参照することで舞台表現を革新し続けています。太陽劇団の作品には、演出家であるアリアヌ・ムヌーシュキンが若き日に心酔したという日本の能や歌舞伎、文楽の影響が垣間見えます。本作『金夢島 L'ÎLE D'OR』も、ムヌーシュキンが佐渡島を始め様々な場所で大きなインスピレーションを受け構想したもので、2019年京都賞受賞のために日本滞在了際の交流やリサーチを経て、コロナ禍の中でも日本の能楽師や演劇関係者とのワークショップが行われてきました。当初は2021年秋の来日公演が予定されていましたが、コロナ禍により中止を余儀なくされ、2年越しについに実現する運びとなりました。2021年11月に、パリにある劇団の本拠地「カルトゥーシュリ」で初演され、現地で話題を呼びました。22年ぶりの日本公演、そして初めてとなる関西での公演にぜひご注目ください。

作|太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ) 演出|アリアヌ・ムヌーシュキン(2019年京都賞受賞)

創作アソシエイト|エレヌ・シクスー 音楽|ジャン＝ジャック・ルメートル

出演|太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ)



© Michèle Laurent



© Michèle Laurent

〈あらすじ〉病床に伏す年配の女性コルネリアの夢の中では、日本の架空の島「金夢島(かねむじま)」を舞台に、事件が起きようとしていた。金夢島の女性市長ヤマムラとその仲間たちは、地域振興のため島での国際演劇祭を計画している。一方、対立する勢力は、島のリゾート開発を狙う外国人資本家らとともに、自然豊かな漁港を埋め立ててカジノを建設しようと目論んでいた。二つの思惑が交錯する中で、国際演劇祭は翻弄されていく。

〈関連企画〉太陽劇団による演技ワークショップ 11月1日(水)ロームシアター京都  
太陽劇団作品の上映会・トーク 10月29日(日)京都芸術劇場 春秋座(京都芸術大学内)

## 太陽劇団 Théâtre du Soleil

太陽劇団1964年にフランスで設立。“集団創作”という独自スタイルで知られ、パリ郊外のカルトゥーシュリ(弾薬庫跡)を拠点に活動している。70年に上演されたフランス革命を題材とした『1789』は斬新な演劇手法で、世界的注目を集めた。古典から仮面劇、現代の難民問題を扱った作品まで幅広いレパートリーを持つ。2001年に『堤防の上の鼓手』(新国立劇場)で待望の初来日を果たし、アジアの人形劇、特に日本の文楽のエッセンスを大胆に取り入れた表現が大きな話題を呼んだ。



© Pascal Gallepe

## アリアヌ・ムヌーシュキン Ariane Mnouchkine

1939年パリ生まれ。59年ソルボンヌ大学在学中に演劇集団A.T.E.P.(パリ学生演劇協会)を結成。64年にA.T.E.P.のメンバーを中心に太陽劇団を設立。以後半世紀以上に渡り、現代演劇の第一線で演出家として活躍している。80年代からのシェイクスピア作品、90年代からのギリシャ悲劇の連続公演でも話題を集め、さらにアジア演劇の身体的技法を取り入れた表現でも注目を浴びてきた。また映画『1789年』、『モリエール』といった映画監督作品もある。これらの長年にわたる功績が評価され、2019年に第35回京都賞思想・芸術部門を受賞した。



© Inamori Foundation

主催|ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 共同招聘|公益財団法人東京歴史文化財団 東京芸術劇場 共催|京都新聞 特別協賛|公益財団法人稲盛財団



# ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU” 2023年度参加アーティスト 劇団不労社「MUMBLE ーモグモグ・モゴモゴー」

12.14(土) - 17(日) 全6回公演(予定) 会場 | ノースホール

全席自由 一般前売 | 3,000円(その他各種割引あり) [10月下旬発売予定]

関西を拠点に、アンダーグラウンドとハイカルチャー、コメディとホラーなど、対極にある要素を異種混濁的に取り入れながら、現代の歪な人間像を滑稽かつグロテスクに描く作劇が特徴の劇団。今作は共同体に内在する暴力性を描く「集団暴力シリーズ」作品群の集大成として位置付ける新作。裏で違法な動物取引を行いながら、表向きはジビエ料理が名物の民宿という、二面的なファミリービジネスを営む一族の姿を通じ、現代における家族像の混沌を描き出します。タイトルの「MUMBLE」は、口いっぱいに「モグモグ」と頬張る様子、またそこから転じて「モゴモゴ」と不明瞭に声をくぐもらせる様子を指す英単語。〈食〉を創作の上でのキータームに据え、舞台芸術ならではの「生」の表現の可能性を追求します。

作・演出 | 西田悠哉 出演 | 荷車ケンシロウ、むらたちあき、永淵大河(以上、劇団不労社)ほか

主催 | 劇団不労社 共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

# ディミトリス・パパイオアヌー「INK」

2024.1月中旬 会場 | サウスホール

全席指定 一般(1階席) | 6,000円、一般(2階席) | 5,000円、ユース(25歳以下) | 3,000円、18歳以下 | 1,000円 [9月23日(土)一般発売開始]

## 3度目の京都公演は、パパイオアヌー自身が出演する濃密なデュオ作品

ギリシャの振付家・演出家、ディミトリス・パパイオアヌーの作品を今年度も招聘します。今作「INK」は2020年のコロナ禍におけるロックダウンの最中に制作された作品で、今回の日本公演としてはロームシアター京都のみの単独上演となります。出演者はパパイオアヌー自らを含めた2名というシンプルな構成ながら、彼らしい詩的で幻想的な表現が凝縮されている作品です。シュルレアリスムの雰囲気漂い、闇とファンタジーが共存する独自の世界観をふたたびお楽しみください。



©Julian Mommert

ビジュアル・演出 | ディミトリス・パパイオアヌー 出演 | ディミトリス・パパイオアヌー ほか



©Julian Mommert

### ディミトリス・パパイオアヌー Dimitris Papaioannou

演出・振付家。1964年アテネ生まれ。美術家として活動を始め、舞台芸術のアーティスト(演出家・振付家・美術家・パフォーマー)として知られるようになる前には、画家や漫画製作家として国際的に認められていた。NYでダンスを学び、86年に自身のカンパニーを設立。以後フィジカルシアター、実験的ダンス、パフォーマンス・アートを融合した独自の舞台創作を展開。2004年アテネオリンピックの開閉会式を演出し、世界的に注目を集める。2018年5月にはグッパタール舞踊団の委嘱により同カンパニーに『Since She』を振付・演出。ピナ・バウシュ亡き後、初めて新作を発表した振付家として大きな話題を呼んだ。2019年には『THE GREAT TAMER』にて日本初来日を果たし、2021年6月初演の最新作『TRANSVERSE ORIENTATION』は2022年英国ローレンス・オリヴィエ賞の「最優秀新作ダンス作品」部門にノミネート、日本を含む世界30か国以上で上演された。

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

# ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU” 2023年度参加アーティスト PANCETTA「PANCETTA LAB 2024 IN KYOTO」(仮)

2024.2.1(土) - 4(日) 全4回公演 会場 | ノースホール

全席自由 前売 | 3,000円、当日 | 3,500円、U22(前売・当日) | 2,500円 [12月4日(日)一般発売開始]

東京を拠点とし、「第9回せんがわ劇場演劇コンクールグランプリ」「若手演出家コンクール2018 最優秀賞」「第6回世田谷区芸術アワード“飛翔”舞台芸術部門」と受賞が続く注目の若手パフォーマンスユニットの関西初公演。装置のないシンプルな空間で音・光・身体のみによる演出を用い、ナンセンスでシュールな独特の世界を描き、演劇とコントのはざまにある新感覚の“喜劇”を生み出します。「PANCETTA LAB(パンチェッタラボ)」では、出会い、研究、実験を目的とし、上演のみならず、稽古場の開放・生配信など過程を公開しながら創作。稽古場での“何かが生まれるその瞬間”から観客にひらいていくことで、新たな演劇を立ち上げることを目指します。

構成・演出 | 一宮周平 出演 | 佐藤竜、瞳、一宮周平 ほか

主催・企画・製作 | PANCETTA 共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

# レパトリーの創造 高谷史郎(ダムタイプ) 新作パフォーマンス公演

2024.2.9(金) - 12(月祝) 会場 | サウスホール

全席指定 一般(1階席) | 5,000円、一般(2階席) | 4,000円、ユース(25歳以下) | 2,500円、18歳以下 | 1,000円 [10月14日(土)一般発売開始]

## 高谷史郎(ダムタイプ)による8年ぶりの新作舞台作品をプロデュース

ダムタイプのコアメンバーとして活躍し、パフォーマンスシーンに新たな可能性を開拓したメディア・アーティスト高谷史郎。ロームシアター京都が2017年度から取り組んでいるシリーズ「レパトリーの創造」で、満を持しての新作を発表します。高谷史郎個人名義でのパフォーマンスアーツ作品としては、「ST/LL」(2015年初演)以来の待望の新作となります。「Liminal Space(リミナルスペース)」と称した、「日常の中の非日常」「2つの相反する要素が両立している奇妙な空間」を作品テーマの中心に据えて創作を行います。芸術と科学、そしてそれらとテクノロジーの関係をベースとしながら、美術と舞台芸術のボーダーを軽やかに超えた、静謐で美しくかつドラマティックな舞台芸術作品が誕生します。〈関連企画〉10月初旬高谷史郎映像作品の上映会



「明るい部屋」©Kazuo Fukunaga

### 高谷史郎 Shiro Takatani

1963年生まれ。1984年からアーティスト・グループ「ダムタイプ」の活動に参加。様々なメディアを用いたパフォーマンスやインスタレーション作品の制作に携わり、世界各地の劇場や美術館、アートセンター等で公演／展示を行う。また、中谷芙二子、坂本龍一、野村萬斎、十五代樂吉左衛門・樂直入らとのコラボレーション作品も多数。

### 総合ディレクション | 高谷史郎

照明 | 吉本有輝子

テクニカルコラボーレーター | 濱哲史、白石晃一、古舘健  
舞台監督 | 大鹿展明

企画製作 | ロームシアター京都

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

《継承と創造》金剛流能「石橋<sup>しゃっきょう</sup> 和合連獅子」2024.2.23<sup>金祝</sup> 全1回公演

会場 | サウスホール

全席指定 料金未定 [11月18日<sup>土</sup>チケット発売開始]能楽シテ方五流派のうち唯一京都に拠点を持つ  
金剛流の“舞”をフィーチャー

ロームシアター京都では、2017年度よりシリーズ「舞台芸術としての伝統芸能」において、能楽や文楽、雅楽などを新たな切り口で紹介してきました。また2021年度からは古典芸能に加え地域ごとに継承されてきた民俗芸能を含む「継承と創造」シリーズとして発展させ、『宮古・八重山・琉球の芸能』の魅力をお伝えしてきました。今年度は能楽・金剛流の“舞”に注目いたします。金剛流は能楽シテ方五流派のひとつで、五流のうち京都に宗家が在住する唯一の流派です。豪快でありながら華麗な芸風により「舞金剛」と称えられています。金剛流の“舞”を堪能いただけるプログラムにどうぞご期待ください。

出演 | 金剛流能楽師 企画協力 | 天野文雄(能楽研究／大阪大学名誉教授)

## 金剛流二十六世宗家 金剛 永謹 Hisanori Kongo

1998年9月能楽金剛流二十六世宗家を継承する。重要無形文化財総合認定保持者。第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2018年紫綬褒章受章。公益財団法人金剛能楽堂財団理事長。一般社団法人日本能楽会会長。



## 金剛流 若宗家 金剛 龍謹 Tatsunori Kongo

1988年、金剛流二十六世宗家金剛永謹の長男。自らの芸の研鑽を第一に舞台を勤めながら、新作能などの既存の能の形にとらわれない新たな試みにも挑戦。自身の演能会「龍門之会」をはじめとして、全国、海外での公演に出演。京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞受賞。



企画製作 | ロームシアター京都 主催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

## 劇場の学校

7-8月 ※オープンクラスの一部は11月

劇場での学びの場として、国内外の第一線で活躍するアーティストを講師に迎え、各分野の表現について、参加者自身が身体を動かし、考え、創ることに取り組みます。コースのほかに多様なオープンクラスも開講。  
〈講師〉演劇コース A (戯曲) | 土田英生(劇作家・演出家・俳優／MONO 代表) 演劇コース B | 和田ながら(演出家／したため主宰) ダンスコース A | アオイヤマダ(表現者) ダンスコース B | 倉田翠(演出家・振付家・ダンサー／akakilike 主宰) メディア表現コース | 山城大督(美術家・映像作家)



© 金サジ (umiak)

企画製作 | ロームシアター京都 主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

## リージョナルシアター事業

通年

会場 | 京都市内の高齢者施設

演出家の多田淳之介氏を講師に迎え、演劇の手法を使ったワークショップを企画・実施します。京都市内の高齢者施設へ出向き、公共劇場として、創造性豊かな地域づくりへの貢献を目指します。

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
共催 | 一般財団法人地域創造(リージョナルシアター事業)小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XX  
モーツァルト 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」  
ROHM CLASSIC SPECIAL2024.3.15<sup>金</sup>、17<sup>日</sup> 全2回公演

会場 | メインホール

席種・料金・発売日未定

世界的な指揮者である小澤征爾が、自らの音楽経験を後進の若手音楽家に伝えることを目的に、2000年に立ち上げた教育プロジェクト「小澤征爾音楽塾」によるオペラ公演です。記念すべき20回目となる2024年のオペラ・プロジェクトは、モーツァルトによる歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」を上演いたします。

「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」に続き、モーツァルト&ダ・ポンテの名コンビによる最後の作品で、2組のカップルが織りなす男女の駆け引きを、豊かなアンサンブルで綴ります。2023年のオペラ・プロジェクト XIX プッチーニ: 歌劇「ラ・ボエーム」に続き、演出はデイヴィッド・ニース、装置・衣裳デザインはロバート・パージオラ。プロダクションは、2014年に兵庫県立芸術文化センターで初演されたものを使用いたします。指揮は小澤征爾音楽塾首席指揮者のディエゴ・マテウス。日本をはじめアジア各国からオーディションを経て選出され、サイトウ・キネン・オーケストラメンバーらの熱い指導を受けて大きく成長する小澤征爾音楽塾オーケストラが演奏を務めます。

小澤征爾音楽塾で「コジ・ファン・トゥッテ」を上演するのは2001年以来、23年ぶりとなります。お見逃しなく!

音楽監督 | 小澤征爾 指揮 | ディエゴ・マテウス(小澤征爾音楽塾首席指揮者)

演出 | デイヴィッド・ニース 装置・衣裳デザイン | ロバート・パージオラ

管弦楽 | 小澤征爾音楽塾オーケストラ

主催 | 小澤征爾音楽塾／ヴェローザ・ジャパン 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 共催 | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 協賛 | ローム株式会社 企画・制作 | ヴェローザ・ジャパン

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XX  
子どものためのオペラ 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」より  
ローム クラシック スペシャル

会場 | メインホール

京都市内の小学生6年生を対象にした招待公演です。  
(学校単位での申込のみ)

毎年恒例となった、京都市内の小学生を対象としたオペラ公演です。本公演と同じ舞台で繰り広げられる、迫力あるオペラの上演(一部抜粋)は、オペラ鑑賞が初めての子どもたちも、楽しく体験できる機会となっています。

音楽監督 | 小澤征爾 管弦楽 | 小澤征爾音楽塾オーケストラ ほか

主催 | 小澤征爾音楽塾／ヴェローザ・ジャパン 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 共催 | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 協賛 | ローム株式会社 企画・制作 | ヴェローザ・ジャパン



2014年兵庫県立芸術文化センター 初演時のもの



(C) 大窪道治



## 芸能の在る処～伝統芸能入門講座～

11.16<sup>木</sup>、11.17<sup>金</sup>、12.27<sup>水</sup> 全回18:00開演

会場|ノースホール

全席自由 1,000円(要事前申込) [申込開始日未定]

木ノ下歌舞伎主宰で、古典芸能／伝統芸能に関する執筆、講座など多岐にわたる活動が注目されている木ノ下裕一を案内人とする伝統芸能入門講座を2021、2022年度に続き開講します。

2021年度の人形浄瑠璃・文楽編／松竹新喜劇編／能楽編、2022年度の歌舞伎編／京舞編／宝塚歌劇編に続き、2023年度は狂言、落語、浪曲を取り上げます。

- ①11月16日(木)開催 狂言編 登壇者:茂山千之丞、横山太郎  
②11月17日(金)開催 落語編 登壇者:小佐田定雄、古川綾子  
③12月27日(水)開催 浪曲編 登壇者:玉川奈々福、真鍋昌賢

主催|ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

木ノ下裕一  
Yuichi Kinoshita

木ノ下歌舞伎主宰。1985年和歌山市生まれ。2006年、京都造形芸術大学在学中に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ



© 東直子

下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『隅田川』『三人吉三』『糸井版 摂州合邦辻』『義経千本桜一渡海屋・大物浦一』など。2016年に上演した『勸進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回(令和元年度)京都府文化賞奨励賞受賞。令和2年度京都市芸術新人賞受賞。平成29年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。渋谷・コクーン歌舞伎、神田伯山の補綴を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。

## “いま”を考えるトークシリーズ

年2回

会場|パークプラザ3階共通ロビー

無料、事前申込優先

多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招くトークシリーズです。

主催|ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業  
未来のわたしー劇場の仕事ー

通年

本事業は、15～30歳の若者を対象に、ロームシアター京都を職業体験の場として活用したもので、現役職員から制作基礎知識等を学ぶ講座や、実際の公演の観客誘導や受付、創作現場の稽古場サポート等の体験を通して、劇場の仕事に触れます。このプログラムを通して、参加者が、劇場や舞台芸術の現場にとどまらず、自分のキャリアデザイン～仕事を通じて実現したい将来像やそれに近づくプロセスを意識してもらうことを目的としています。

主催|ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、公益財団法人京都市ユースサービス協会、京都市

## アセンブリープログラム

「ほんものとの出会い」を作り出す京都岡崎 蔦屋書店(カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社)と連携し、ロームシアター京都が目指す劇場文化を育むための入り口として、気軽に参加できるマルシェやワークショップ、トークイベントなどのプログラムを開催します。

## WEB マガジン「Spin-Off(スピンオフ)」

月2回更新中

<https://rohmtheatrekyoto.jp/spin-off/>

2021年に創刊した自主事業の趣旨や魅力を紹介するオウンドメディア

## 機関誌「ASSEMBLY(アセンブリー)」

WEB マガジン「Spin-Off」内にて連載中 <https://rohmtheatrekyoto.jp/spin-off/assembly/>

3つの主題「ひとり」「ふつう」「知らない」を掲げ、多彩な記事を掲載する WEB 版機関誌

## リサーチプログラム

通年 ※2024年3月に最終報告会を予定

プログラム策定のためのリサーチと、舞台芸術に関わる研究・批評分野と実践の場をつなげる若手人材の育成を目指すプログラム。

主催|ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ロームシアター京都 レパートリー作品  
木ノ下歌舞伎「糸井版 摂州合邦辻」2023年ツアー

5-7月

会場|KAAT 神奈川芸術劇場、北上市文化交流センターさくらホール、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、北九州芸術劇場、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

ロームシアター京都プロデュースとして、木ノ下歌舞伎×糸井幸之介のタッグにより、2018年度に製作した音楽劇。今回、決定版と呼べる2020年バージョンのキャストが再集結し、全国5都市を巡演します。

横浜|5月26日(金)～6月4日(日) 北上|6月10日(土)  
豊橋|6月14日(水) 北九州|6月25日(日) 大津|7月1日(土)

作|菅専助、若竹笛躬 監修・補綴・上演台本|木ノ下裕一  
上演台本・演出・音楽|糸井幸之介(FUKAIPRODUCE羽衣)



(C) 東直子

企画制作|ロームシアター京都、木ノ下歌舞伎／一般社団法人樹来舎 製作|ロームシアター京都  
共同製作|穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、KAAT 神奈川芸術劇場

## 「およげ!ショピニアーナ」茨木市公演

7.22<sup>土</sup>-23<sup>日</sup> 全4回公演

会場|茨木市福祉文化会館

ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業「シアターデビュー! 促進プログラム」として2022年に製作。ピアノの生演奏と個性豊かなダンサーたちと一緒に楽しむダンス・パフォーマンスが、再び大阪・茨木市でお目見えします。

構成|中間アヤカ 美術|TAIYA(下寺孝典、中澤ふくみ)  
出演|佐藤健太郎、垣尾優、中間アヤカ ピアノ演奏|長阪花音

製作|ロームシアター京都×京都市文化会館5館 主催|公益財団法人茨木市文化振興財団



音楽総合体験施設 ミュージックサロン

入場無料 ※一部整理券が必要な場合あり

場所 | パークプラザ3階

ミュージックサロンは、音楽とさまざまな形で触れあえる施設です。本格的な音響施設を備えた120インチスクリーンでのオペラ等の鑑賞や、音楽家によるコンサート、専門家によるセミナーなど随時開催しています。

共同運営 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、  
公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 共催 | ローム株式会社



アクセシビリティ情報

当館では以下の通りアクセシビリティに関するサポート・設備をご用意しています。  
ご利用については下記【お問合せ】までお問合せください。

観劇サポート

ロームシアター京都自主事業では、お客様の観劇に際して以下の観劇サポートを実施いたします。  
対象公演の各情報欄にマークを記しています。 ※実施内容に変更が生じる可能性があります

みえないみえづらいお客様へ

音声ガイド



音声ガイドとは、舞台の美術や照明、また登場人物の動きや身につけているものについてリアルタイムで解説し、その解説音声声を副音声として利用者様にお届けするシステムです。舞台の生音を耳で聞きながら、受信機からの副音声を同時に聞いていただけます。

きこえないきこえづらいお客様へ

ポータブル字幕機



ポータブル字幕機や舞台上字幕（要約筆記）など文字によるサポートがございます。どちらも出演者が発話する言葉を文字としてご覧いただけます。そのほか効果音や物音、音楽が流れているかなどが場面に合わせて表示されます。舞台の様子とあわせてご鑑賞ください。

文字支援



文字支援とは、舞台上の文字を拡大・縮小・色変更などにより、視覚的にわかりやすく表示いたします。

ヒアリングループ



ヒアリングループとは、舞台付近で集音した音を送信機から専用受信機へ送ることで、舞台の音をクリアに聞くことができるシステムです。磁気コイル付補聴器・人工内耳を装用の方は、専用受信機がなくても送信機からの音を受信していただけます。

施設におけるバリアフリーサービス

バリアフリーに配慮した設備とサービスをご用意しています。

車椅子を利用されるお客様へ

メインホール、サウスホールには、車椅子をご利用のまま観覧できる車椅子スペースがございます。劇場備え付けの車椅子のお貸出しも可能です。

福祉専用駐車場

車椅子をご利用の方や移動が困難な方などにご利用いただける福祉専用駐車場(2台)がございます。

多目的トイレ

館内各フロア(5ヵ所)およびホール内ホワイエにございます。設備：オストメイト対応、おむつ交換台、ベビーチェア、多目的シート(約150cm×60cm、ブロンナード北側の多目的トイレのみ)

託児サービス

ロームシアター京都自主事業では、小さなお子さまをお連れの方も安心してゆっくりと舞台をお楽しみいただけるよう、託児サービスを実施いたします。対象公演の各情報欄にマークを記しています。

対象年齢 | 3か月～就学前  
料金 | 有料 1,000円 / 1公演 / お子さま1人あたり ※一部料金の異なる公演がございます。  
※お申込・詳細についてはロームシアター京都 WEB サイト(各公演ページ)をご確認ください。

観劇サポートについてのお問い合わせ

TEL:075-771-6051 FAX:075-746-3366 Eメール:accessibility@rohmttheatrekyoto.jp  
FAX/Eメールの場合、以下の通りお知らせ下さい。内容確認後、こちらからご連絡致します。  
件名:「観劇サポートについて」 ①お名前 ②連絡先 ③ご質問内容

会員制度

京都コンサートホール・ロームシアター京都  
サポーター・パートナー制度 会員募集 ーご支援のお願いー



© 山地憲太

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団では、京都コンサートホール及びロームシアター京都の事業の充実と、京都における「音楽・舞台芸術の創造環境向上」、「質の高い芸術文化活動の創出」を目的として、広くご支援をいただくための賛助会員制度を設けています。

多くの才能が集い、新たな創造が生まれ、交流する——文化芸術都市・京都の“今”を分かち合い、ともに“未来”を創るために、皆さまのあたたかいご支援・ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

特典

優遇 | 税制上の優遇措置／本会費は、寄付金として税制上の優遇措置を受けることができます。

共有 | 情報誌のご送付／両施設の定期発行物や公演チラシに加え、会員様限定の通信を毎月末、無料でお届けします。

交流 | 会員向けイベントの開催／両館のバックステージツアーや自主事業のリハーサル公開など、様々な限定イベントへご招待します。

その他、両館の自主事業公演の最速先行販売(FAX・メール購入可)、両館 WEB サイトや公演会場でのご芳名の掲載などの特典がございます。

\* 制度詳細はQRコードよりご確認ください



会費 法人(サポーター) | 1口10万円～ 個人(パートナー) | 1口2万円～

お問い合わせ

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 サポーター・パートナー制度 担当窓口(ロームシアター京都内)  
専用 TEL:075-746-3362 FAX:075-746-3366 MAIL:sp@kyoto-ongeibun.jp  
受付時間:9:00～17:00(臨時休館日を除く／新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合あり)

その他にも会員制度がございます！

フレンズ会員(無料オンライン会員)  
年会費無料・要登録

ロームシアター京都主催公演のチケット先行予約特典付きのお得な会員制度

特典①チケット先行予約(オンライン限定) | ロームシアター京都主催公演

特典②インターネットでのチケット購入 | ロームシアター京都・京都コンサートホールでの公演

特典③パソコン・携帯電話へのメールマガジン配信 | 最新のチケット発売情報や公演情報など

京都コンサートホール・ロームシアター京都 Club 会員  
年会費1,000円(税込)

京都コンサートホール、ロームシアター京都共通の会員制度

特典①チケット先行予約(窓口・電話・オンライン) | ロームシアター京都・京都コンサートホール主催公演

特典②チケットの割引 | 指定公演チケットの割引販売

特典③公演チラシや毎月発行のイベントカレンダー等の情報をお届け | 月1回送付

※その他にも豊富な特典あり



## TICKET

## チケットのご購入について

【WEB】オンラインチケット 24時間購入可／要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

※電子チケットでの引取も可能(対象公演のみ)



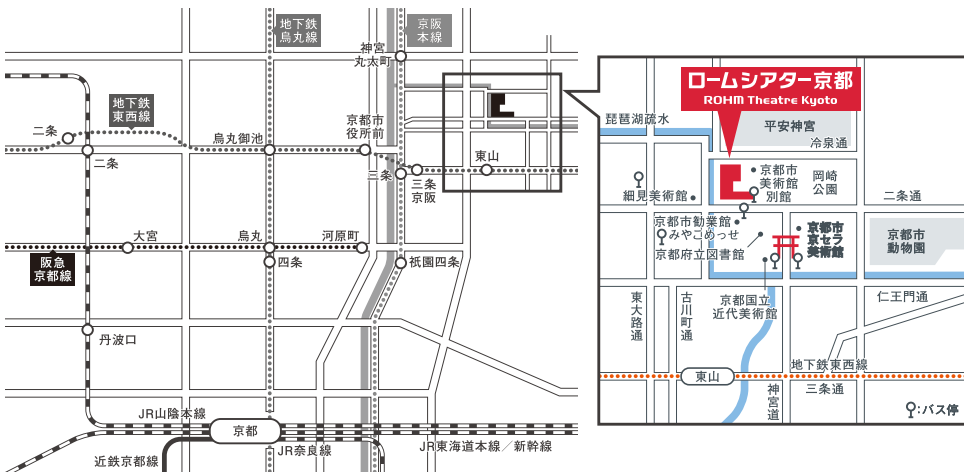
【電話・窓口】ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL | 075-746-3201 (窓口・電話とも10:00-17:00 / 年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

【電話・窓口】京都コンサートホール チケットカウンター

TEL | 075-711-3231 (窓口・電話とも10:00-17:00 / 第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

## ACCESS



〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

※営業・開館時間は状況により変更することがあります。最新情報はお問合せください。

- ・京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- ・市バス32・46系統「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- ・市バス5・86系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- ・市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

## CONTACT

TEL | 075-771-6051 (代表) 075-746-3201 (チケットカウンター)

FAX | 075-746-3366 WEB | <https://rohmtheatrekyoto.jp/>

 RT\_Kyoto
  RohmTheatreKyoto
  rohmtheatrekyoto

▶ <https://www.youtube.com/c/ROHMTheatreKyoto2016>